疾患名　食道癌　　No.188

プロトコール名　5-FU＋CDDP 併用療法（NAC）

□進行・再発癌　□術後補助化学療法　■術前補助化学療法

□大量化学療法　□局所療法　□その他（放射線治療併用）

投与順	抗癌剤名（商品名・略号）	1日投与量	投与法	投与時間	投与日（d1, d8等）
1	フルオロウラシル（5-FU・5-FU）	800mg/m^2	ci	２４時間	d1～5
2	シスプラチン（シスプラチン・CDDP）	80mg/m^2	div	２時間	d1
3					

1コース期間　（次コースまでの標準期間）	3週間
総コース数	2コース
コース間での休薬の規定	※Grade3以上の有害事象で休薬に

減量規定・中止基準	※Grade3以上の有害事象で75%に減量 JCOG9907も参考
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	5-FU→CDDP（day1）
ﾌﾟﾚﾒﾃﾞｨｹｰｼｮﾝ・ﾎﾟｽﾄﾒﾃﾞｨｹｰｼｮﾝ	ﾌﾟﾚﾒﾃﾞｨｹｰｼｮﾝ day1:グラニセトロン1mg、day1-3：アプレピタント、 day1-5：デキサメタゾン

※CTCAE　v4.0

患者条件

・組織学的に食道扁平上皮癌である
・PS　0～2
・主要臓器機能に大きな異常がない

除外規定

・PS3以上
・重篤な術後合併症を有する患者
・主要臓器機能が保たれていない患者
・本剤又は他の白金を含む薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者
・妊婦又は妊娠している可能性のある婦人
・感染症合併、および発熱を有し感染症を疑われる患者

実施上の注意点

・CDDP投与日は補液の投与と利尿に務める
・JCOG9907を参考